

1. 小田急小田原線新松田7号踏切拡幅及び周辺道路歩道整備を

平成26年3月に足柄紫水大橋完成後、町道304－3号線から町道235号線の交通量が増えてきている。小田急小田原線新松田7号踏切は歩道が整備されていないため、道路と線路が交差する踏切は電車、自動車、自転車、歩行者が通行する極めて危険な場所であり、安全対策が必要となる。

道路等については、まず歩行者の安全を優先的に考慮すべきと考えるが、この場所は歩行者を優先とした踏切ではなく、車優先のような状況がみられるため、踏切を拡幅し、歩道を設ける整備が必要である。また、近くには工場があり大型車の搬入搬出経路となっている。踏切が狭いため普通車の交互通行もままならない状態であり、隣接する企業では下島交差点方面から進入する大型車両は右折を禁止し、迂回をして搬入されている状況が見られる。また下島交差点から小田急小田原線新松田7号踏切までの間、歩道が整備されていないため、下島東地区方面や開成駅を利用する通勤通学等や近隣住民にとって大変危険な状況にある。歩道を整備し、早急に踏切拡幅を小田急電鉄に働きかけるべきと考えるが、町の見解は。